

南砺市公共施設等総合管理計画に関するパブリックコメントに
おけるご意見と市の考え方（回答）

平成27年7月3日から7月27日まで実施した「南砺市公共施設等総合管理計画」へのパブリックコメントにおいて、期間中に14件のご意見をいただきました。
ご意見と市の考え方は次のとおりです。

No.	市民の意見	市の考え方（回答）
1	旧福野第二保育園の建物を壊して整地し松原柴田屋線の代替地とする。	代替地の候補地だと考えているが、あくまでも、移転する方の希望があればという話になる。
2	公共財産がそれなりに活用されている地域も、そうでない地域もあり、利用率、効率の悪い公共財産を廃止することで、行政支出を極力抑えるべきである。 そのため、過疎地域の集落は集団移転を考えるべきであり、その具体的な移転方法を提案する。	集団移転は地域に住む住民の意志によって決められるものであり、移転の意思表示があった場合には、参考にさせていただきたい。
3	『現行の公共施設再編計画』とは、平成23年3月作成の南砺市公共施設再編計画のことか。	お見込みの通りです。
4	明確な削減目標数値を持たない平成23年3月の『南砺市公共施設再編計画』は、ゼロベースで全面的に見直すべきである。	ご指摘のとおり、公共施設等総合管理計画を踏まえて、ゼロベースで見直しを予定しています。ただし、売却・譲渡、解体等の再編方針が示されている施設については、その方針を引き継ぐことを前提に見直しを行います。次期公共施設再編計画を平成27年度中に策定予定です。
5	聖域は設けず全ての『箱もの施設』について、行政サービスのあるべき姿の原点に立ち戻り、受益者負担、複合施設化、民間活用等の観点から再度見直しを早急に図る必要がある。	総合管理計画の基本的な方針の中に、ご指摘いただいた事項を含めておりますので、それに基づき今年度中の次期公共施設再編計画の作成に向けて取り組みを進めます。
6	南砺市総合計画の目標達成に向けて、明確な削減数値目標に裏打ちされた、より効果的効率的な公共施設の「賢い使い方」が生み出されるべきである。	施設が提供しているサービスの量及び質を十分検討し、運営方法、運営主体の検討も行い、より効果的で効率的な運営を目指すことはもちろんですが、多くの皆さんに使っていただいて収益をあげることも目指していきたいと考えています。
7	行政サービス水準の検討が軽視されているのではないか。	総合管理計画は、どちらかというと人口減少に伴う影響や今後の財政状況に重きを置いた計画となっていますが、当然のことながら、次期再編計画策定では、施設分類毎にサービスの水準を検討して進めていくこととしています。

No.	市民の意見	市の考え方（回答）
8	<p>目標というものは、達成可能な目標でなければならぬ。今回の『目標』が、果たして達成可能なものであるのか。30年にしろ50%の面積縮減は決して小さな目標ではない。</p>	<p>50%という目標は、住民の皆さんにとってもかなりの痛みを伴うものであり、容易に達成できるものではありません。しかしながら、30年後の南砺市を考えたとき、安心して暮らし続けるためにはこの目標達成が必要であり、子や孫たちのために、住民の理解を得ながら目標達成に向けて努めたいと考えています。しかしながら、計画（目標）を先延ばしする場合は、維持管理経費相当分を基金として積立てすることとしています。</p> <p>また、進捗状況の評価も行いながら、必要に応じて見直しを図っていきます。</p>
9	<p>公共施設マネジメントは、行政における従来の公会計制度や保全・営繕の取り組みでは十分に対応ができてこなかったために深刻化している課題であり、行政内部の人材では対応できないことが想定される。専門的な知識やノウハウを有する『認定ファシリティマネジャー』等の専門家とアドバイザー契約を結ぶべきである。</p>	<p>公共施設マネジメントには公会計を含めた専門的な知識が必要であると認識しております。今回の計画策定に当たっては、公認会計士、認定ファシリティマネジャーの資格をもつ業者と契約を結び作業を進めています。</p>
10	<p>歳入見直しの一つとして、受益者負担という観点からサービスの単価設定を再度見直すべきである。</p>	<p>現在の利用料金設定は、合併時に8町村調整して決定したものです。今回の計画づくりに当たって、公共施設の維持管理経費、利用状況等を把握し、一人当たりのコストも算出しております。受益者負担の原則と厳しい財政状況が予想されることから、利用料金の見直しを行っていかねばならないと考えています。</p>
11	<p>人口が減り、受益者の数が減っているのだから大胆に行政サービス実施の場所は集約すべきである。</p>	<p>文化センター、図書館、体育館等類似の市町村に比べて施設数が多いものもあります。必要な行政サービスの水準を考慮して、他の公共施設への機能移管を含めて、施設を集約しなければならないと考えています。</p>
12	<p>箱物だけを膨大な維持費のもとに所有し続けることが住民へのサービスではない。箱物があればサービス提供ができると考えるのは間違い。最小限の施設で、如何に充実したサービスを提供できるかを考え、実施していくのが南砺市にかせられた仕事です。建物の耐久年数が問題であれば、なるべく長い耐久年数のある建物に集約すべきである。</p>	<p>ご指摘のとおり、最大の効果を最小の経費で発揮できるよう、公共施設の再編を考えていきます。</p>
13	<p>住民だけではなく、旅行者や新たな参入企業から収入を得るべき。</p>	<p>計画に「公共施設の縮減は、単に施設を廃止や取り壊しするだけではなく、民間へ譲渡するなど、地域活性化に向けて可能な限り施設の有効活用を努める。」を追加しました。</p> <p>旅行者（交流人口）の増加については、市の重点施策として取り組んでいます。</p>
14	<p>東京の千代田図書館は、千代田区役所の建物の中にある。以前は東京九段の一等地に、千代田区役所と千代田図書館が別個に並んだ建物であったものを、2007年に一つの複合ビルにしたものである。南砺市においても行政センターと図書館を別個の建物にしておく必然性はないものとする。</p>	<p>施設を縮減するための方策として、施設の複合化は有効なものと認識しております。施設面積の縮減に向けた施設の複合化と、住民サービスの向上が両立できるよう、次期公共施設再編計画の作成の中で検討していきます。</p>

No.	市民の意見	市の考え方（回答）
15	<p>集約化については優先順位をつけて取り組み、その順位決定の基準については、明確な形で市民に提示してほしい。</p>	<p>施設の再編方針は、対象者、利用度、施設の老朽度、対象地区の人口見通し、1人あたりコスト、民間を含めた代替サービスへの移動距離等を総合的に判断し決定する予定です。次期公共施設再編計画を策定した際には、再度住民説明会を開催する予定としており、併せて再編の考え方につきましても説明いたします。</p>